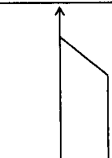


1 電気事業

(1) 経営基盤の強化

改革事項	ダム・発電所の管理運営の効率化	行動目標	2カ所のダム及び5カ所の発電所の管理体制の見直しを図る。
(行動計画)		1.4	1.5
1 電力の自由化が進む中で、安定供給を前提として自立できる事業運営を目指し、管理運営体制の抜本的見直しを図る。	改革指標・目標数値 維持管理費の削減 △11百万円/年 (H16~18 △33百万円) 100%委託化	☆管理運営の検討 <管理運営体制> ・基本行動計画策定	・問題点の抽出を図るため検討案の試行及び再評価 ・委託化等の拡充
2 ダム管理者としてダムの安全確保を図りながら、ダム管理の合理化、省力化を図る。		・管理室の運転、操作体制見直し検討 ・保全体制の見直し検討 <ダム管理> ・ダムの出水時対応マニュアル再検討	・新たな運転、操作体制の実施 ・出水時におけるダム管理合理化省力化計画策定 ・合理化省力化のためのシステム改良
改革事項	経年劣化対策の効率的な執行	行動目標	経年劣化対策を確保に努めるとともに、一層のコスト削減に努める。
(行動計画)		1.4	1.5
1 施設の劣化状況を精査の上、優先順位を明確にして計画的で効果的な経年劣化対策を図る。	改革指標・目標数値 設備更新費用の抑制 施設耐用年数の1.5倍 維持管理費の削減 △4百万円 (H18)	☆老朽化対策の検討 <経年劣化対策> ・施設の劣化状況精査 ・限界保全の文獻調査 ・玉淀ダムゲート改修方法の検討及び詳細設計	☆長期設備改良計画策定・実施 ・限界保全の手法と効果の検討 ・ゲート改修工事
2 発電業務の合理化を図る。		<合理化省力化対策> ・送電線路の廃止検討 ・配電線路の隧道内設置の検討	(料金交渉) (料金交渉) (料金交渉) (料金交渉)

(2) 事業の抜本的な見直し

改革事項	将来の運営方針の検討	行動目標	社会経済情勢の変化の中で、事業の公営企業としての意義を検証したうえで、効率的事業形態、新たな事業方策について検討し、将来の運営方針を決定する。			
<p>(行動計画)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公営企業としての事業の意義を検証する。 2 民営化・売却の可能性等の効率的事業形態について検討する。 3 一般電力会社以外の電力の供給の可能性等の新たな事業方策を検討する。 	<p>1.4 現状分析・課題の整理 ・電力自由化の動向 ・公営電気事業の位置付け ・本県電気事業の位置付け</p>	<p>1.5 ☆意義の検証 ☆効率的事業形態の検討 ☆新たな事業方策の検討</p>	<p>1.6 </p>	<p>1.7 ☆将来の運営方針の検討</p>	<p>1.8 ☆将来の運営方針の決定</p>	
<p>改革指標・目標数値</p>		<p>改革効果(見込み)</p>				
<p>将来の運営方針の決定 H18決定</p>		<p>効率的事業形態の確立</p>				

(3) 環境面への積極的な取組

改革事項	クリーンエネルギーの供給と環境保全	行動目標	環境にやさしい水力発電事業を推進する。		
<p>(行動計画)</p> <p>1 荒川水系の水資源を有効に活用するため、関係機関と調整を図り施設利用率の向上を目指す。</p> <p>2 水資源の有効活用を図るとともに、地球環境にやさしい再生可能なエネルギー利用の促進を図るため、水資源開発公団が施工している滝沢ダムに水力発電所を整備する。</p> <p>3 適切な施設の維持管理を行い電力の安定供給を図るとともに、万一の際、下流への油流出防止を図るための発電所のオイルレス化の検討や玉淀ダムのゲートの改修に当たっては、環境に配慮した塗装を採用する等環境保全に努力する。</p>	<p>1.4</p> <p><水資源の有効活用> ・放流に対する積極的な関係機関との調整 ・職員研修の充実 ・達成率の公表</p> <p><滝沢発電所の建設> 【平成20年度稼働】 ・関係機関との調整 水資源開発公団 国の機関 東京電力(株) 地元自治体 水利管理組合等 ・土木施設の詳細設計及び発注</p> <p><施設の維持管理> ・施設の劣化状況調査 ・オイルレス化の検討 ・環境に配慮した塗装等の調査、検討</p>	<p>1.5</p> <p>・長期設備改良計画策定・実施 ・ゲート改修工事</p>	<p>1.6</p> <p>(電力供給100%を達成)</p>	<p>1.7</p> <p>するための行動)</p>	<p>1.8</p>
<p>改革指標・目標数値</p> <p>電力供給目標達成率 100% (H9~13の平均達成率 98.1%)</p>		<p>改革効果(見込み)</p> <p>CO₂削減量 Δ 621t-CO₂/年 (H14~18Δ3,105t-CO₂) [(ドラム缶Δ5,875本(軽油換算))]</p>			